

令和5年度 シラバス

科目名	単位数 (時間数)	学科・学年	担当者氏名
化粧品化学	2単位 (60時間)	美容科・1学年2学年	松崎 一夫
学習目標			授業の方法
<p>理容・美容技術の専門家としての基礎的・一般的知識の習得を目的とする。  「化学の基本原理の理解と応用能力が、理容師・美容師にきわめて重要な意義をもつことを理解させ、化粧品化学、化学に関する知識、技能の習得を目指す。  化粧品化学は高度な応用科学であり、工学や薬学のような実学である。対象となる物質が高校までに取り扱うものではないため、難易度が高いかもしれないが、化粧品化学でさまざまな方向から化粧品の知識と理解を深め、顧客への適切なアドバイスができるようになることを目指す。</p>			講義
成績の評価方法			
定期考査 (60点以上を合格とする)			
教科書		副読本	
化粧品化学 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)			

学習指導年間計画 (授業計画)

【1 学年時】

章	項	内容・目的	履修時間
第1章 化粧品概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧品の社会的意義と品質特性</li> <li>化粧品の規制</li> <li>化粧品の安定性と取り扱い上の注意</li> <li>化粧品と安全性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧品の社会的意義を理解させる。</li> <li>化粧品の品質特性やその種類と機能を理解させる。</li> <li>化粧品の定義と規制について理解させる。</li> </ul>	6
第2章 化粧品用原料	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧品の対象となる人体各部の性状</li> <li>水性原料</li> <li>油性原料</li> <li>界面活性剤</li> <li>高分子化合物</li> <li>色材</li> <li>香料</li> <li>その他の配合成分</li> <li>ネイル、まつ毛エクステンション用材料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの原料の特徴・特性を理解させる。</li> <li>さらに分類がある場合には、それぞれ分類される原料の特徴・特性を理解させる。</li> <li>各々の分類にあたる代表的な原料について考える。</li> <li>それぞれの原料について、関係の深い皮膚原料や物理現象があれば、その原料との関連について考察させる。</li> </ul>	8
第3章 基礎化粧品	<ul style="list-style-type: none"> <li>皮膚清浄用化粧品</li> <li>化粧水</li> <li>クリーム・乳液</li> <li>その他の基礎化粧品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎化粧品の学習内容全般について理解させる。</li> <li>皮膚清浄用化粧品について理解させる。</li> <li>化粧水・クリーム・乳液・その他基礎化粧品について理解させる。</li> </ul>	8
第4章 メイクアップ用化粧品	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイクアップ用化粧品の種類と剤形</li> <li>ベースメイクアップ化粧品</li> <li>ポイントメイクアップ化粧品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの化粧品について、どのような目的で使用するのかを理解させる。</li> <li>それぞれの化粧品について、どのような場所に使用するのかを教える。</li> <li>それぞれの化粧品について、特徴や特性、原料を教える。</li> <li>そのためにどのような基材、色材を使うかを考察させる。</li> </ul>	8

【2 学年時】

章	項	内容・目的	履修時間
第 5 章 頭皮・毛髪用 化粧品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャンプー剤</li> <li>・スタイリング剤</li> <li>・パーマ剤</li> <li>・ヘアカラー</li> <li>・育毛剤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正常な頭皮と毛髪の状態について理解させる。</li> <li>・頭皮・毛髪を清浄にする化粧品について、その使用目的や種類について理解させる。</li> <li>・スタイリングに使用させる化粧品について、その使用目的や種類について理解させる。</li> <li>・パーマ剤技術に使用させる化粧品について、その使用目的や種類、作用の様式や安全性について理解させる。</li> <li>・カラーリングに使用させる化粧品について、その使用目的や種類、作用の様式や安全性について理解させる。</li> <li>・頭皮と毛髪を健やかにする化粧品について、処方される成分とその目的について理解させる。</li> </ul>	20
第 6 章 芳香製品と 特殊化粧品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芳香製品</li> <li>・特殊化粧品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芳香製品の種類と機能・使用目的の違いを理解させる。</li> <li>・特殊化粧品の種類と機能・使用目的の違いを理解させる。</li> </ul>	6
化粧品化学を理解するための基礎化学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の構成</li> <li>・物質（水）の構造</li> <li>・溶液とコロイド</li> <li>・イオンと水素イオン指数</li> <li>・物質の変化と化学反応</li> <li>・酸化・還元反応</li> <li>・タンパク質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の構造、化学結合、物質の量について理解させる。</li> <li>・溶解の仕組み、浸透、コロイドについて理解させる。</li> <li>・塩と塩基の定義、pH、中和反応と塩について理解させる。</li> </ul>	4